

# 夢プロジェクトのまとめ

平成28年度

平成28年度「夢プロジェクト」の取り組みについてお知らせします。  
去る2月21日（火）に本年度のまとめの為の「第2回夢プロジェクト実行委員会」が開催されました。その内容についてお知らせします。

## 学力向上部会

### 本年度の取り組み

- ◎ 学力向上推進委員会
  - ① 家庭学習の充実（ガイドブックの作成と実践）など
  - ② 全国学力調査や町学力テストの取り組みと夢プロ検定（漢字・計算・ローマ字テスト）の実施
- ◎ 授業改善推進委員会  
授業実践の交流と授業研究の成果を共有化する
- ◎ 保育園との連携推進委員会
  - ① 保小連携推進会議の実施
  - ② 活動の交流
    - 運動会参加（年長児）○保育園の先生の1年生の授業参観及び意見交換会
    - 保育所参観（夏休み中）○年長児の小学校での授業体験 ○お便りの交流
- ◎ 英語教育推進委員会  
中学校の先生が小学校で英語授業を行った。 小中が合同で英語研修会を行った

### 〈小学校〉 組織

学  
力  
向  
上  
部  
会

- 学力向上推進委員会（学力向上推進委員）
- 授業改善推進委員会（研究主任）
- 保育園との連携推進委員会（教頭・小I学担）
- 英語教育推進委員会（外国語活動担当）



### まとめと今後に向けて

町全体で意識的に学力向上に取り組むことができた。保小連携や英語教育の推進についても、町全体として共通理解・共通実践を行うことで、保育園や中学校と連携がさらに深まった。今後は、取り組み内容の精選をすることや中学校の学力向上部会と連携しながら取り組むことでより町全体の学力向上に繋がることを考え、一本化していくことについても検討していく必要がある。

### 〈中学校〉

1. 生徒の学力向上に向けての教員の授業力向上
2. 家庭との連携による家庭学習の習慣化
3. 学力補充の取組
  - ① 学力向上ロードマップの実施
  - ② 基礎学テストの実施（目標合格率80%）
  - ③ 英語教育推進委員会の取組（英語検定の実施—参加人数382人）
4. 七尾鹿島統一到達度調査
5. 3年生への進路指導及び受験対策
  - ① 「夢プロ中能登塾」の実施（講師：家庭教師協会）
  - ② 「夢プロ土曜テスト」の実施（9月～2月 月1回実施）土曜授業
  - ③ 七尾鹿島で日程をそろえた校内実力テストを6回実施
  - ④ 「夢プロ進路講話」
  - ⑤ 鹿西高校学習交流会
  - ⑥ 放課後学習（2学期より）
6. 課題
  - ・学力向上部会のあり方について

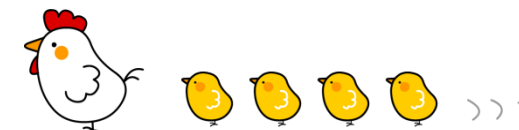
部会は小学校部会と中学校部会と別々に構成されているが、一つの部会として取り組んだ方がいいのではないか。

- ・夢プロの学力向上部会での取組内容の精選について  
夢プロで担っていく学力向上について、内容を精選した方がいいのではないか。
- ・家庭学習の手引及び手引の実践編の有効活用について  
町内小中学校全家庭に配布されている手引の有効活用の検討

### 7. 第Ⅱ期のまとめ

学力の面について、第Ⅱ期の目標である中能登中学校のハイジャンプには至っていない。その要因として、学力の二極化が進み、教科においては、英語科、数学科においてその傾向が顕著である。これらについては、それぞれの教科における最低限の基礎的・基本的知識が十分習得されていない状況にある。さらなる小中連携による徹底した取組の強化及び教科部会の充実を図ることが必要である。また、能動的学習の研究が確かな学力の定着に結びつくような内容になるよう目指さなければならない。学力向上部会として、まずは、生徒が楽しく学べる授業づくりを目指し、そのための授業改善が必要である。教師の「命」はやはり「授業」です。授業で勝負できるよう指導力向上に努めなければならない。

## ふれあい部会



### 1. 『子ども憲章』の完成

わたしたちは、ふるさとの自然や文化に誇りをもち、一人一人がこの憲章を守り、明るく元気に生活します。

一、わたしたちは、中能登町の自然や文化を大切にします。

一、わたしたちは、みんなの命を大切にします。

一、わたしたちは、さわやかなあいさつをします。

一、わたしたちは、思いやりの心をもち、笑顔を大切にします。

一、わたしたちは、学習やスポーツに一生けんめい取り組みます。

一、わたしたちは、夢に向かってがんばります。

2. 科学フェスティバル 6年生と中学1年生が対象だが、6年生に絞って充実を図りたい。
3. 子どもふるさと検定 5年生対象、ふるさとの文化や歴史を知る。合格率をもう少しあげたい。
4. ドリーム・スリー 3校の6年生が集い、交流する。中学校の授業参観も行う。
5. 部活動体験学習 中学校の部活動見学と体験。

## 小学校運動部会

運動に励み、心身を鍛え、健康で明るく、元気いっぱいの小学生の育成を目指す。

今年度の主な取り組み 小学生陸上大会への参加、水泳指導、持久走の実施、いしかわっ子駅伝への参加  
スポチャレいしかわへの参加、縄跳びの実施、新体力テスト  
「スポーツマンシップ賞」スポーツ教室生で努力・礼儀・助け合う態度の真面目な児童13名に授与。「生涯学習の集い」の場で表彰式を行った。

## 部活動部会

### 1 本年度の取り組みの計画と概要

小中連携 部活動体験 スポーツ教室との連携 外部コーチとの連携  
運動に関する講演会 スポーツ医科学研修会

### 2 取り組みの実績

平成28年度 県体の結果

#### ◎石川県中学校陸上競技大会

男子砲丸投	優勝	林 栄真	男子800m	増田海輝 (全国出場決定)	
男子1500m	優勝	増田海輝	男子200m	3位 清水悠汰	
男子100m	2位	清水悠汰	男子走幅跳	8位 日光泰斗	
男子400m	5位	日光泰斗	男子1500m	7位 若狭凜太郎	
女子3000W	優勝	西 未来	2位 西 希望	女子100mH	4位 吉本陽菜
女子1500m	7位	常光優莉亜			

#### ◎石川県中学校体育大会

男子弓道	団体優勝 (JOC 全国中学校弓道大会出場)	個人優勝	岡野 暉	3位	清水来樹
男子ソフトテニス	団体優勝 (北信越・全国出場)	個人優勝	濱田倫太郎・端山羅行 (北信越・全国出場)	2位	森口聖士・曾山結心 (北信越出場)
				3位	柳 海風・松村零音

女子体操	団体2位
女子ソフトテニス	団体3位 (北信越出場) 個人3位 山辺茉衣子・堀下あゆみ (北信越出場)
女子柔道	団体3位 個人2位 北野那美 2位 深田涼子 2位 北野佑美 (北信越出場)
男子柔道	個人55kg級3位 大塚遥人 (北信越出場) 3位 大島健志郎
男子剣道	個人3位 岡崎 肇 (北信越出場)
女子剣道	個人5位 田村吹妃 (北信越出場)
女子バドミントン	個人3位 井上桃花
女子卓球	個人ベスト8 青木綺香 (北信越出場)
男子水泳	100mバタ5位 吉田季生 8位 土谷尊斗 200mバタ8位 吉田季生
女子水泳	100mバタ4位 黒木咲希 200mバタ4位 黒木咲希

#### ◎ 石川県吹奏楽コンクール 【金賞】 中能登中学校吹奏楽部

#### ◎ 石川県中学生ロボットコンテスト 県創造アイデアロボット部門

【優勝】	吉田 康史	梅木 祐実	【準優勝】	東 智哉	泉 昂希
【3位】	岩本 郷哉	坪田 奏音	【審査員特別賞】	直江 一樹	亀井 惇
【技術賞】	東 智哉	泉 昂希			

#### ◎ 北信越中学校体育大会

男子共通砲丸投	4位	林 栄真	男子共通1500m	8位	増田海輝
男子ソフトテニス	団体優勝	個人優勝	森口聖士・曾山結心 (全国出場)	2位	濱田倫太郎・端山羅行 (全国出場)
				3位	柳 海風・松村零音 (全国出場)
女子ソフトテニス	団体2位 (全国出場)				
男子柔道	個人55kg級3位	大塚遥人	女子剣道	個人5位	田村吹妃

#### ◎ 全国中学校体育大会

男子ソフトテニス	団体3位 (曾山、森口、濱田、端山、柳、松村、植田、多胡)
	個人3位 濱田倫太郎・端山羅行 5位 森口聖士・曾山結心
女子ソフトテニス	団体5位 (山辺、堀下、横山、宮下、弥田、田村、三野、清水)

### 〈小学校〉各学校の状況

- ① 登校・・・遅くなる子は、生活面でも不安を抱えている。
- ② あいさつ・・・玄関では大きな声であいさつができて、それ以外ではできない。
- ③ベル学・・・随分良くなってきている。

## 生活指導部会

- ④服装・・・白のソックスをはかせるように指導したいが難しい。
- ⑤授業態度・・・少しずつできるようになってきている。
- ⑥自転車・・・ヘルメットの着用率は高いが、一旦停止ができていない。



### 取り組みの成果・課題と来年度のに向けて

- (1) 保・小・中連携の強化
- (2) ネットトラブルへの指導

### 〈中学校〉【学びの約束】4n条

- 1 授業のあいさつは、姿勢を正し元気よく。
- 2 ベル学をする。(チャイムで授業開始)
- 3 積極的に学び合いをする。
- 4 学習環境を整える。

- ◎ カインドハート賞を設けて、生徒の心の育成を図っていく
- ◎ 交通安全の徹底と事故やけがの防止  
ヘルメット・タスキの着用の呼びかけ

## 生徒会部会

開校4年目。生徒会活動の中心となる委員会活動にも中能登中学校のスタイルが定着してきているように感じる。各委員会の仕事の役割分担も明確になり、新たな企画が出てくるなど生徒たちが創意工夫している様子がうかがえる。しかし、勉強と部活動とのバランスも考えながら、生徒会活動の時間を生み出すので、十分に時間を確保することが難しいのが現状である。また、15ある委員会の活動状況が分かりにくいので、掲示物や生徒会便りの発行などを通し、活動の視覚化を図っている。

- (1) あいさつ運動
- (2) 明かりボランティア
- (3) 平和集会
- (4) 学校祭
- (5) 服のチカラプロジェクト



## PTA 部会

- (1) 親学び講演会の実施 前橋 明先生

幼児期から小学低学年までに身につけたい生活習慣や規則正しい生活リズムの重要性を公演された。小・中学生が生活習慣を見直す契機となった。

- (2) 標語・川柳コンクール 応募総数：1278点

標語	町長賞	元気のもと いってきますと ハイタッチ	小林紗奈 (鳥屋小2)
	実行委員長賞	おはようは かぞくみんなの すたーとえんじん	山瀬莉杏 (鹿島小1)
川柳	町長賞	町いっぱい 広がる笑顔 あいさつで	石井愛梨 (中能登中3)
	実行委員長賞	どこへ行く みんなでなやむ かぞく旅	宮本真弥 (鹿西小5)

